

2023 年度

# 阪神まち大学

## 日本酒文化発信コース報告書



＼ 集え！大学生 ／

### 初めての西宮乾杯祭

～ 見つけてみよう！新しい My Sake My friends ～



関西学院大学	4 年	高田 夏帆	関西学院大学	4 年	佐竹 拓真
甲南女子大学	3 年	横山 由佳	大手前大学	3 年	上田 朝陽
神戸女学院大学	3 年	武村 百花	同志社大学	2 年	今井 涼葉
神戸大学	1 年	宮部 琴葉			

## 目次

イベント概要	1
参加者アンケートの結果	3
メーカー様からのご意見	9
(大関株式会社・辰馬本家酒造株式会社・白鷹株式会社・日本盛株式会社)	
阪神電鉄様からのご意見	12
メンバーの振り返り	12
活動の様子(写真)	14

主 催：阪神まち大学 日本酒文化発信コース  
企 画 協 力：阪神電気鉄道株式会社、NPO 法人コミュニティ事業支援ネット  
イベント協力：辰馬本家酒造株式会社、大関株式会社、日本盛株式会社、白鷹株式会社  
後 援：兵庫県阪神南県民センター

### 阪神まち大学とは…

阪神地域の大学に通う大学生が、地域や企業と連携した活動を通じて、社会で必要な力を身に付けることを目的にした NPO 法人コミュニティ事業支援ネットが運営する“まちの大学”です。

# イベント概要

## ● イベント詳細

○日時 2024年1月24日（水）13時～15時

○場所 辰馬本家酒造株式会社旧本社 宜春苑

○企画背景 私たちは今回のまち大のプロジェクトに参加するまで、日本酒について全く知らず、苦い、種類が多くてよくわからない、自分にはまだ早いといったイメージでした。ですが、歴史を学んだり、飲んだり、アンテナショップに行って雰囲気に触れることを通して「あれ、意外と飲める?」「意外と面白いかも?」と感じるようになりました。その感覚を、日本酒を避けがちな若者世代にも体験してほしいという想いをもとに企画を進めていきました。

○ターゲット 大学3年生～4年生（学生限定）

○協力メーカー 大関株式会社・辰馬本家酒造株式会社・日本盛株式会社・白鷹株式会社

○当日のタイムスケジュール：

13:00～	開会式
13:10～13:20	自己紹介ゲーム
13:20～13:35	西宮クイズ
13:35～13:40	休憩
13:40～13:55	試飲説明
13:55～14:35	診断・試飲
14:45～14:55	おかわりタイム
14:55～15:00	閉会式

○参加人数 38人  
参加学生 21人、阪神まち大学 5人  
協力メーカー 6人、阪神電鉄 2人  
県職員 1人、元観光ボランティアガイド 1人、  
NPO 法人コミュニティ事業支援ネットスタッフ 2人、

○当日運営メンバー：高田・佐竹・横山・上田・今井

## ● 主な活動記録

メインの活動記録については以下の通りです。

これに加え、毎週木曜日にメンバーミーティングと定期的な阪神電鉄様との合同ミーティングも行った。

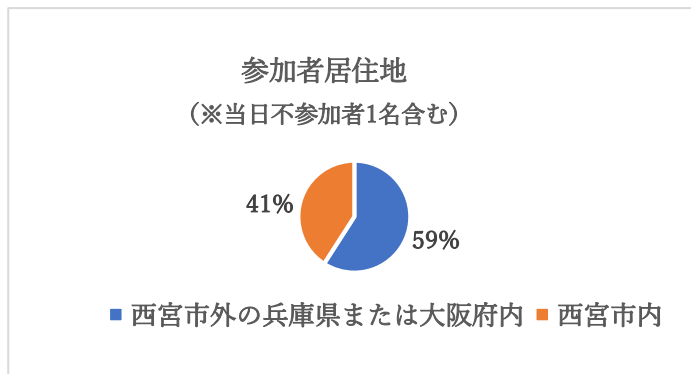
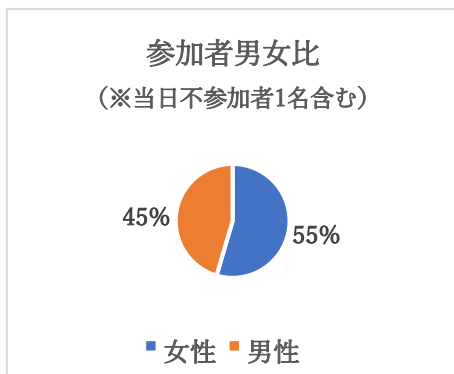
日付	活動内容	活動場所(行先)
8月31日	キックオフミーティング	西宮市市民交流センター
9月11日	元観光ボラからのレク	こみサポ
10月21日	関さんとのFW	阪神西宮駅
10月26日	対面 MTG	西宮市市民交流センター
11月22日	第1回メーカー打ち合わせ (大関)	大関株式会社
11月29日	第1回メーカー打ち合わせ (白鷹)	白鷹株式会社
12月 5日	第1回メーカー打ち合わせ (日本盛)	日本盛株式会社
12月 6日	第1回メーカー打ち合わせ (白鹿)	辰馬本家酒造株式会社
12月16日	つながり交流祭	園田学園女子大学
12月20日	第2回メーカー打ち合わせ (白鷹)	オンライン
12月22日	第2回メーカー打ち合わせ (大関)	オンライン
12月25日	第2回メーカー打ち合わせ (白鹿)	旧本社 (下見)
12月25日	第2回メーカー打ち合わせ (日本盛)	日本盛株式会社
1月11日	会場下見	辰馬本家酒造株式会社
1月24日	イベント当日	辰馬本家酒造株式会社

# 参加者アンケートの結果

## ○概要

- ・ 20 歳以上の大学生（西宮乾杯祭に参加した大学生）
- ・ 計：21 名

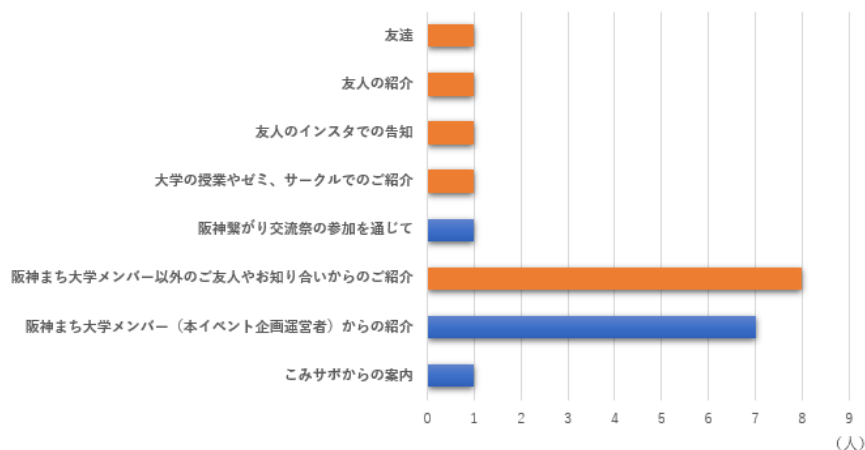
## ○具体的な属性



### 【考察】

- ・ 参加者男女比はほぼ半々の割合となりました。
- ・ 西宮市外在住の参加者が約 6 割、西宮市内在住の参加者が約 4 割となりました。
- ・ 関西学院生、阪急・阪神エリアの学生が中心でしたが、奈良県や大阪市内に通う学生も参加されました。

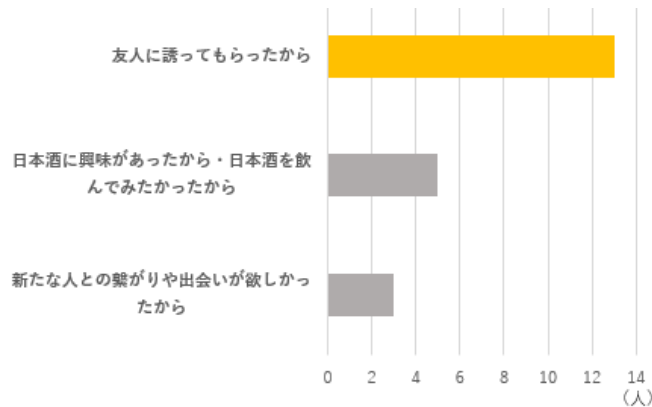
## ○イベント認知のきっかけ



### 【考察】

- ・ 青はまち大メンバーによる紹介やお誘い、オレンジはまち大メンバー以外による紹介やお誘いを示しています。
- ・ ご友人やお知り合いからのご紹介が多かったことから、ご友人と一緒に参加して頂いた方が多いように思われます。
- ・ 友人を通じた紹介以外の参加者確保に困難を感じました。

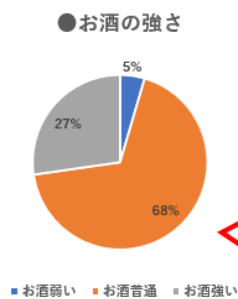
## ○イベントの参加動機



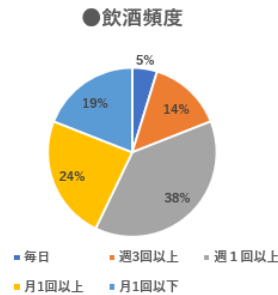
### 【考察】

- ・日本酒への興味よりも、友人に誘われたから参加したが多かったです。
- ・日本酒に未だ関心を持ち切れていない方をターゲットにしていたため、狙いと一致していたと思います。

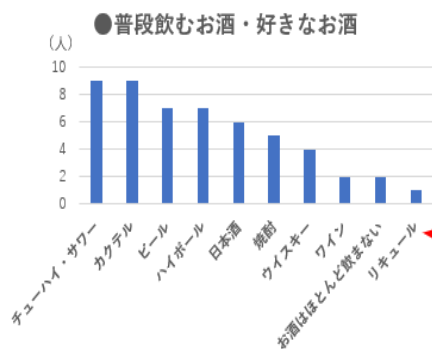
## ○イベント参加者の飲酒状況



・「自分自身お酒の強さはどの程度だとして自身で認識しているか？」という内容で質問しました。  
 ・1 (弱い) 2~3 (普通) 4~5 (強い) の5段階で回答頂きました。  
 ・今回の参加者はお酒好きが多かったようです。

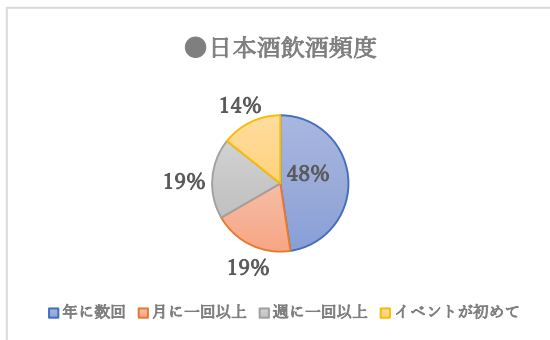


・参加者の日常での、飲酒頻度に関する、データです。  
 ・月1回~週2回の飲酒頻度で、約6割を占めており、あまり日常的には飲まないようです。  
 ・毎日飲酒する方はたったの5%でした。



・チューハイ・サワー、カクテル→ビール・ハイボール→日本酒という推移でした。  
 ・チューハイやサワーが多く占めている点は、予想通りでした。  
 やはり若者はアルコール度数の低いお酒や、果汁などのお酒本来の味に加えて味つけにも好みを持つようです。

## ○イベント参加者の日本酒飲酒状況



### 【考察】

- ・半数が日本酒を飲むのは年に数回と回答。飲み慣れていない参加者が多かったです。
- ・一方で、飲み慣れている方も一部おられました。

## ○好印象を持った日本酒×日本酒飲酒頻度の相関関係

ご提供いただいた日本酒に対して、どのような飲酒状況のイベント参加者が美味しいと感じたかを分析しました。

好印象を持った日本酒×日本酒飲酒頻度の相関関係			日本酒飲酒頻度										《合計》						
			週に一回以上		月に一回以上		年に数回				初めて飲んだ								
美味しい！また飲みたい！	大関	初心者でも気軽に飲める 花泡香	0		1	1	3			1	1	1		0		4			
		ちょっと飲み慣れたら飲みたい 地エネの酒環	1	1	0		3	1	1	1					0		4		
		日本酒通になったら飲みたい 辛丹波 【燗】	3	1	1	1	1			1	1					0		6	
	白鹿	初心者でも気軽に飲める 花琥珀シリーズ（ゆず）	2	1	1	2	1	1	6	1	1	1	1	1	3	1	1	1	13
		ちょっと飲み慣れたら飲みたい 黒松白鹿 かおり 純米吟醸 プレミアムパック	0			0			0							0			0
		日本酒通になったら飲みたい 上撰超辛本醸造 【燗】	0			2	1	1	2			1	1			0			4
	白鷹	初心者でも気軽に飲める 吟醸生貯蔵酒	0			0			0							0			0
		ちょっと飲み慣れたら飲みたい 特別純米 金松白鷹 【燗】	1	1		1	1	3	1	1	1				0			5	
		日本酒通になったら飲みたい 吟醸純米 超特撰白鷹	1	1		1		2						1	1	0			4
	日本盛	初心者でも気軽に飲める JAPAN SODA	0			0		6	1	1	1	1	1	1	1	1			7
		ちょっと飲み慣れたら飲みたい 純米吟醸 葱花	0			1	1	1			1					0			2
		日本酒通になったら飲みたい 純米大吟醸 生酒	2	1		1	1	0								0			3

### 【考察】

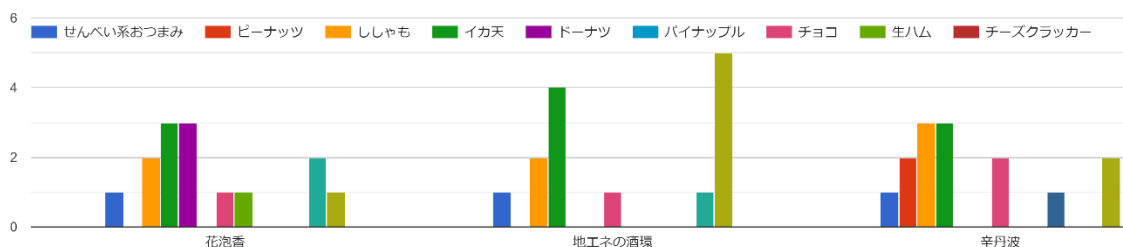
- ・『初心者でも気軽に飲める』『ちょっと飲み慣れたら飲みたい』の日本酒は、日本酒飲酒頻度が『年に数回』『初めて飲んだ』の方に人気でした。
- ・一方で、日本酒飲酒頻度と日本酒の特徴に相関関係が見られないものもありました。
- ・会社様それぞれで、好まれる層は異なることがデータからもわかりました。

## ○日本酒とおつまみのペアリング『ペアリングコンテスト』の結果

※グラフの黄緑色のデータは、ペアリング実施ナシを示しています。

※数字は人数を示しています。

### ～大関様～



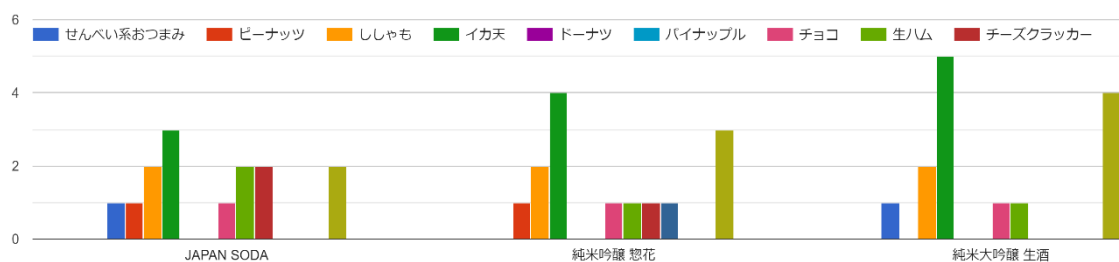
#### 【考察】

『花泡香』はイカ天とドーナツが、『地エネの酒環』は生ハムとししやもが、『辛丹波』はししやもとイカ天が人気でした。

### <参加者からメーカー様への声>

- ・花泡香、後味も甘くてとってもおいしかったです！
- ・地エネの酒環美味しかったです。
- ・熱かんが喉から胃に染み込んできて美味しかった。
- ・花泡香が日本酒のイメージとは違って甘く美味しかったです。
- ・最高でした。

### ～日本盛様～



#### 【考察】

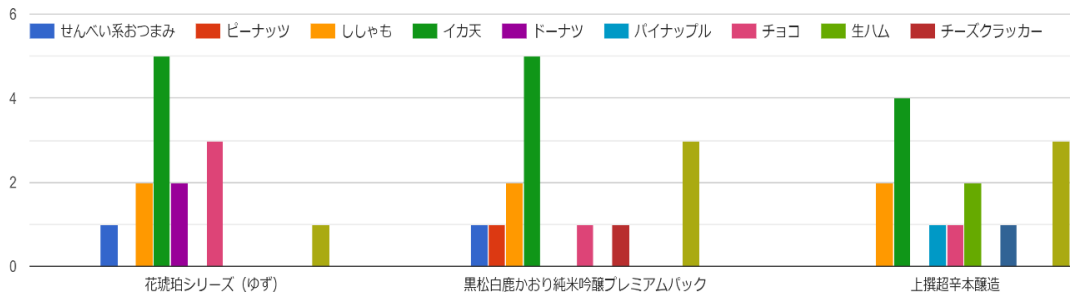
『JAPAN SODA』はイカ天と生ハムとチーズクラッカー、ししやもが、『純米吟醸 惣花』はイカ天が、『純米大吟醸』はイカ天が人気でした。

### <参加者からメーカー様への声>

- ・いろんな日本酒を楽しめました！ありがとうございました！
- ・酒粕のような癖がいちごのように感じられて飲みやすかったです。
- ・JAPAN SODA 美味しかったです。ありがとうございました。
- ・炭酸が日本酒とあっていてよかった。



## ～白鹿様～



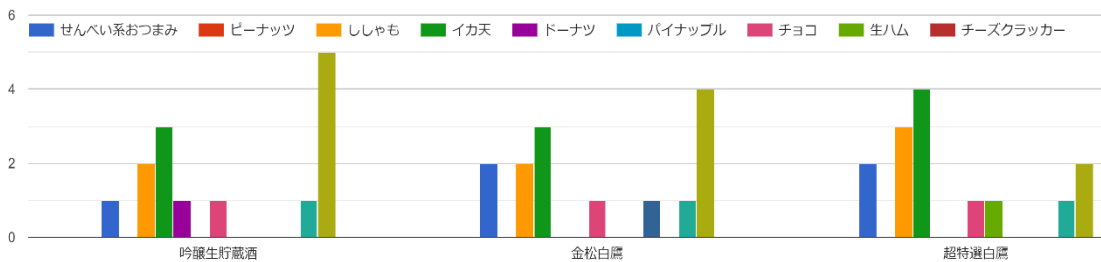
### 【考察】

『花琥珀シリーズ (ゆず)』はイカ天とチョコが、『黒松白鹿かおり』はイカ天が、『上撰超辛本醸造』はイカ天とししゃもと生ハムが人気でした。

### <参加者からメーカー様への声>

- ・花琥珀シリーズ (ゆず) がおいしかったです！
- ・ゆずの日本酒が1番飲みやすかったです！
- ・初めて熱燗を飲みましたが、甘さを感じて飲みやすかったです。
- ・美味しかったです。ありがとうございました。
- ・花琥珀が日本酒のイメージとは違い新しい甘い味で美味しかった。
- ・飲みやすかったです。

## ～白鷹様～



### 【考察】

『吟醸生貯蔵酒』はイカ天とししゃもが、『金松白鷹』はイカ天とせんべい、ししゃもが、『超特撰白鷹』はイカ天とししゃもが人気でした。

### <参加者からメーカー様への声>

- ・チーズと超特選とても合いました。
- ・本日はありがとうございました。
- ・美味しかったです。

## ○日本酒に対するイメージのイベント参加前後比較 ～生の声一覧

※参加者自由回答

### ☆イベント参加前のイメージ

お魚と合うイメージでした。
飲みにくいイメージがあった
おいしそう
大人の飲み物ってイメージ
お酒が強い人がよく飲むイメージ
お酒が好きな人が飲むもの
アルコール度数が強いお酒 でも飲みやすい
美味しいけど自分のタイプが見つげにくい
大人なイメージ
あまり得意では無いと思っていました。
自分で買って飲むこともあるので、美味しいイメージをもっています。
アルコール感が強くてお酒が好きな人が呑むイメージ
後味の強さ
若者はあまり飲まないイメージでした。
年配の方が飲むイメージ。
度数が強く、美味しくないイメージ。
日本酒は飲みにくい。
辛くて飲みにくい。
美味しい
日本食をより美味しく食べるために欠かせない
色々な味や風味があり、面白い
少し飲みづらくて、高そうなイメージでした。

### ☆イベント参加後のイメージ

甘いおつまみとも合わせてみて、思ったよりも合うことに驚きました。
もっといろいろなおつまみと飲んでみたいです。
色々な種類があると感じた。
いろんな種類があって楽しい
少しずつ楽しんでいけそう
香りが良いし飲みやすい
案外飲みやすいし、日本酒ならではの中毒性も感じられた。
思っているよりも飲みやすく、種類が豊富！
自分のタイプを知れば楽しむ幅が広がる！
飲みやすいものもあるのだと知った
とても美味しかったです。
日本酒はやっぱりうまい！！！！
甘口や辛口など口当たりやさわやかやフルーティーなど風味の違いで様々な種類があり、 お酒が弱い強い関係なく楽しめると感じた！
後味の良さ
種類ごとに全く味が違って驚きました。
飲みやすい日本酒もあるのだという発見がありました。
前は日本酒が飲みにくいと思ったんですけど、 今回のきっかけで甘口とかスパーリングの日本酒を飲んでみて、 おいしかったです！友人にもおすすめしました！
熱燗にすると飲みやすくなること。
飲める
同じです！
色々なあてと共に楽しめるお酒
意外と安くて、美味しくて、香りと旨みがあるなと思うようになりました。

# メーカー様からのご意見

(大関株式会社・辰馬本家酒造株式会社・白鷹株式会社・日本盛株式会社)

## ①阪神まち大学学生のイベント企画・準備に関して

### (1) 学生の積極性

①積極的だった ②積極的でなかった ③どちらとも言えない  
→4社とも①を回答

#### <ご意見>

- ・イベント内企画やアンケートなど、色々と考えてくれていた点が良かった。
  - ・役割分担もできており、大きな問題無く準備・進行出来ていた。
- 但し全体でのチェックまで手が回ってなかったように感じた。
- ・主催者として参加者にどのようにすれば日本酒を楽しんでもらえるかを考え、企画準備をされていたと思う。
  - ・各メーカーと数回打ち合わせをし、成功させたい気持ちが伝わってきた。

### (2) 学生の情報伝達の分かりやすさ

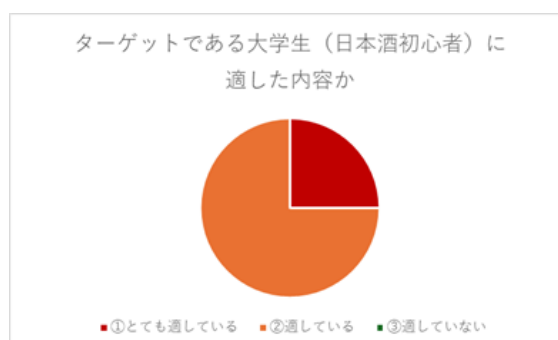
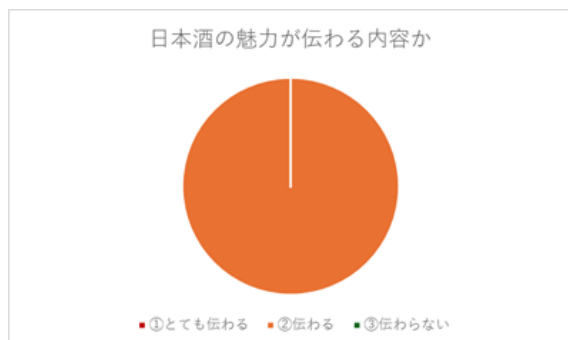
①分かりやすかった ②分かりやすい時と分かりにくい時があった ③分かりにくかった  
→3社②を回答、1社①を回答

#### <ご意見>

- ・意図は伝わったが、クイズの問題や演出方法、ペアリング相手の種類数や調査精度、全体の時間配分など各部分でブラッシュアップできそうなところは色々あった。ただ、これは日本酒への接触回数やイベント運営の経験回数に依るところも大きいと思うので、まずは「こんなことをしたい!」という意思をもってイベントを企画運営してくれたことが嬉しかった。
- ・試飲会は今回に限らず別のイベントでも行っているため、ある程度要領もわかっている中での参加でしたので不明点はなかった。
- ・全体的なシミュレーションが少し不足していたのではという部分は感じたが、スマートフォン1つで情報収集・伝達をこなすあたりは、私たちも見習う部分が大いにあると思う。

## ②各企画内容に関して

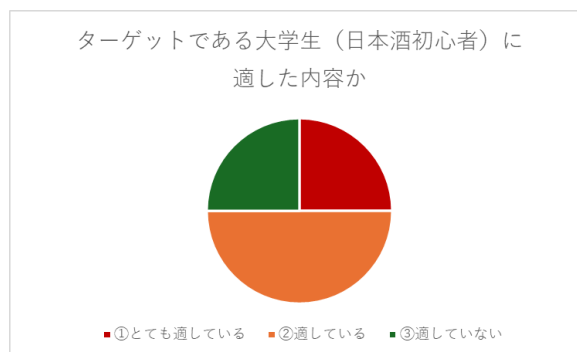
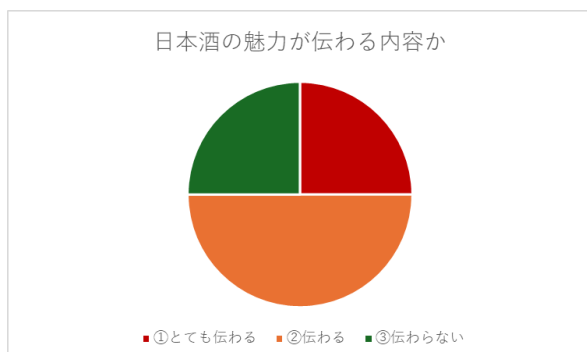
### チーム対抗！日本酒・西宮クイズ



#### <ご意見>

- ・アイスブレイクとしてクイズは良い選択だったと思う。
- ・出題ジャンルがバラバラだったので、今回のイベントの場合なら酒造関係に特にフォーカスしても良かったのではないか
- ・場を和ますためのイベントとしては、それなりの効果はあったように思う
- ・表題に対しての内容は良く、参加者も楽しんでいたのが良かった
- ・酒造メーカーとしても分からない問題があったのでなるほどと思わされた。

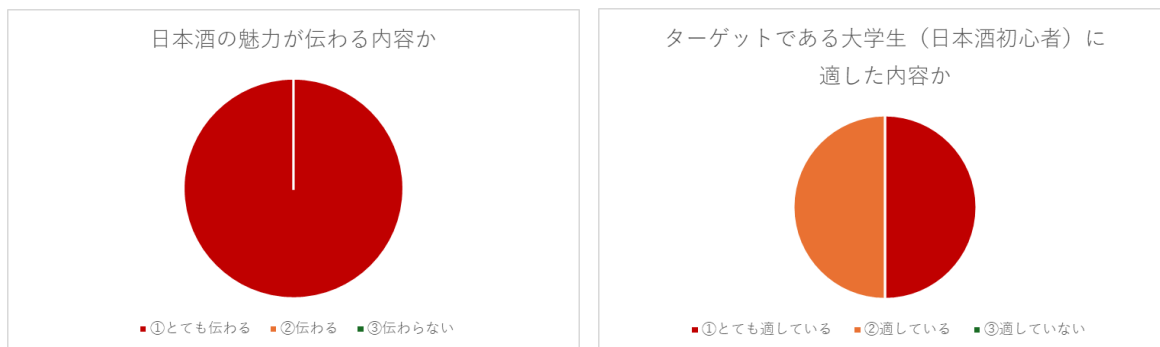
## My 日本酒診断



#### <ご意見>

- ・学生で考えられた企画でよかった
  - ・感覚による部分が大きい企画だと感じた。
  - ・尺度設定において、ある程度日本酒に慣れた舌になっているメーカー担当者が選定した日本酒が並ぶこととなる。できれば主催者側の尺度を入れて欲しかった
  - ・参加者が、この診断の取り扱いに困った部分があったような気がする。
- 同じ診断結果の人でチームを組んで、試飲ブースを回る方がメーカー側からしたら分かりやすかった
- ・日本酒初心者にとっては良い指標となっていたと思う。

## 日本酒試飲会



### <ご意見>

- ・日本酒の良さに初めて気づいたという参加者もいて、企画の目的に合うものだった。
- ・王道の辛丹波（熱燗）が美味しいと言っていただき、花泡香の人氣がなかったのが以外だった。今後の参考にさせていただきます。（大関株式会社）
- ・一巡目は各社一杯、その後は自由という配分は初心者に合わせてよかったと思う。担当者が1人に対する5～6人の相手をするのは少し大変でした。
- ・ペアリングの集計については、
- ・全ての酒を飲めるわけではないのでどうしても母集団が減る
- ・どのようなアテがあるか周知が不十分なため記憶に残りにくい
- ・種類数が多く、時間も短かったため絞り込みが難しい
- ・各企業のテーブルにアテを分散配置すると後で大量に余るといった課題を感じた。これについては、次のような形で解決できないか。
  - －アテの方はあくまで提案型にする、もしくは記録用紙を用意して、都度記録する
  - －アテのテーブルを別途設置（今回の場合だとパネルがあった辺り？）し、そこでペアリングを体験する
  - －アテの種類を絞り「王道（刺身など）」「宅飲みでよく見るもの（ポテチ・乾きものなど）」「ビール等に合わせるイメージのもの（揚げ物など）」「甘味（餡子など）」といった感じで数ジャンル提案する。

### ③イベント当日の運営について感想・ご意見等

（大関株式会社）

- ・準備から当日までいろいろと大変だったと思います、お疲れ様でした。

（辰馬本家酒造株式会社）

- ・お酒で大失敗するような方がいなくて本当に良かったです。最後の方はギリギリ「陽気」の範囲で収まるかな…？くらいの方がいたので、極力試飲会後の時間は短くして、最後にみんなでお水を飲む時間など設けると良いのではと思いました。
- ・時間通りにスムーズに進行させるかどうかは当日の運営に依るところもありますが、盛り上がるかどうかについては事前の用意が大きく影響すると思います。もし次回似たような企画をされる場合は、今回の経験を踏まえてより良い企画にして頂ければと思います。

（白鷹株式会社）

- ・初めてのイベントでしたが、大きなトラブル無く、無事終了出来たことは評価に値すると思います。メーカー側からの意見としては、阪神まち大学に協力することにより若いユーザーとの接点を持つことができたで、終わってしまうのはもったいないので、次なる展開を期待しています。

(日本盛株式会社)

- ・若年層の参加者の皆様が楽しそうに日本酒を飲まれている姿はメーカーとしてとても嬉しかったです。事前準備について良いものを作り上げたいという積極性は良かったです。依頼先が複数ある場合、当日差ができないよう、1社の意見を良いとして取り入れることを決定するのではなく各社ができることを確認したうえで進めていただくと良かったと思います。急な変更の対応が難しいことがあるので。

## 阪神電鉄様からのご意見

- ・想像以上に西宮市外からの参加者も多く、広域での灘五郷の認知に繋がったかと思えます。
- ・診断という新しい切り口で日本酒をよく知らない人（今回のターゲット）に対して「自分事」にしてもらう、という発想が参加者にとって参加しやすかったのではないかと、思いました。
- ・SNS での出会いやコミュニケーションが増加傾向にある中で、リアルで出会う新鮮さや楽しさが主催者である学生含め、学生の皆さんの雰囲気から感じられて、非常に温かく、良いイベントでした。
- ・ターゲットである大学生に日本酒のイベントを知ってもらい、参加してもらうのは非常に難しいことで、今回のイベントにおいても、かなりのご苦労があったと思いますが、自分たちが持つネットワークを活かして集客できたことは大きな成果だと考えます。
- ・イベント進行が堅すぎず砕けすぎず、程よくリラックスした雰囲気を作っていたお蔭で、初対面の参加者同士も終始和やかに楽しんでいるように感じました。
- ・何よりもスタッフ全員が参加者に楽しんで帰ってもらおうという思いを持って取り組まれている姿勢が感じられ、円滑に業務を進めることに比重を置いて取り組みがちな私たちにとっても貴重な学びとなりました。

## メンバーの振り返り

### ○メンバーの考察

- ・メンバー同士の葛藤もありながら、コミサボさんや阪神さん、そしてメーカーさんとの協力があったからこそ、楽しいイベントが企画できたと私たちは考察する。

### ○全体を通した1人ひとりの感想

- ・全員で協力して、イベントの企画に携われて良い経験になりました。特に、メーカーさんと関わる機会はあまりないので、日本酒のイベントで関わることができ、思い出に残りました。

- ・フットワークが軽さやレスポンスの早さの強みを活動に活かして良かったです。全員の意見をまとめてコミサポさんやメーカーさんに流すところ、連絡を受け手全体に流すところに活かしました。(佐竹くん)
- ・イベントをおこなう目的や、「学生視点で！」という趣旨を忘れずに何度も原点に戻りながら、イベントを企画することができました。(横山さん)
- ・チームでの企画の進め方や大人の方々との関わりなど、社会人になるときに必要なことをたくさん知りました。その際には、1つのプロジェクトを進めるためには、多くの力が必要なことも合わせて知りました。(今井さん)
- ・「時間が無い！」と共有を怠るのではなく、最初にしっかりと説明をした上で、全員が主役として進められる環境づくりの大切さを学んだ。(高田さん)

## ○学んだ点

- ・第1に、団結する大切さを学んだ。学生同士だけでなく、コミサポさんや阪神さん、さらにはメーカーさんまで幅広い方とミーティングをおこなった。時には、厳しいフィードバックを受け、行き詰まることもあったが、メンバーが一丸となってそのような現状を乗り越え、来場した人にも大満足のイベントづくりに取り組めたからだ。
- ・第2に、事前準備の大切さを学んだ。第1で記したようにイベントは大成功に終わった。しかし、そこまでは課題があった。プログラムを作成したり、必要な備品をあらかじめ揃えておくことだ。そうすることで、本番に対応できる姿勢がつけられる現状が知れたからだ。

## ○日本酒に対する感想

- ・日本酒とひとくくりに言っても、味が違ったり香りが違ったりとそれぞれ特徴があり、さらにたくさんの人に日本酒の魅力を知ってもらえるよう、企業の方々は様々な工夫を凝らして商品開発をされているということを知ることができました。私たちは日本酒についてほとんど知識がなかったので、今回のプロジェクトで日本酒についてたくさん調べることで知識を広げることができ、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・日本酒を知る貴重な機会となりました。特にメーカーさんと関わることが良かったです。学生生活の中で関わる機会は少なく、企業研究から打ち合わせ、イベント当日の運営までさまざまなカタチで携われた経験を通して、「やって良かった！」と思えたからです。学んだことを活用して、日本酒にもっと触れてみたいと感じました。
- ・この企画を行う前までは、日本酒を飲んだことさえもありませんでした。しかしイベント企画にあたって、日本酒の歴史や商品に対するメーカーの思いを知り、日本酒の奥深さ、面白さに気付きました。イベントでは若者目線を意識し、日本酒初心者に対してのアプローチの仕方を工夫し、参加者とメーカー様と私達と一緒に楽しめたことが良かったと思っています。今回のイベントをきっかけに西宮の日本酒をより多くの人に手に取ってもらえると嬉しいです。



## 活動の様子（写真）

